

## 養鶏場のサルモネラ対策は万全ですか？

サルモネラは、動物の腸管、自然界に広く分布する細菌でさまざまなタイプがあり、ヒトや動物に下痢などをおこすものがあります。(届出伝染病としてのサルモネラ症は、サルモネラ・ダブリン、サルモネラ・エンテリティディス、サルモネラ・ティフィムリウム及びサルモネラ・コレラエスイスに限ります。)

鶏がサルモネラに感染した場合、症状を示さなくても保菌鶏となって、ふん便中や鶏卵内部に排菌することがあり、食中毒の原因となりますので、次の対策を再確認してください。

### < 養鶏場の対策 >

#### 農場への侵入防止

導入ヒナは適切な衛生管理を行っている種鶏場から導入しましょう。

農場・鶏舎の入り口には消毒槽を設置しましょう。

鶏舎専用の衣服・はき物を使用するようにしましょう。

野鳥等の野生動物の家きん舎への侵入を防止することができる防鳥ネット等を設置し、ネット等に破損があった場合には、速やかに修繕しましょう。



#### 農場での衛生管理

鶏舎の洗浄・消毒を徹底しましょう。

飲水に適した水を給与しましょう。

ネズミ、ゴキブリなどの衛生動物や衛生害虫を駆除しましょう。

定期的かつ自主的に、モニタリング検査をしましょう。

鶏舎単位でオールイン・オールアウトしましょう。



#### 鶏卵の衛生管理

集卵トレイやコンテナの洗浄・消毒を徹底しましょう。

鶏卵の保管場所等には直射日光が当たらないようにし、低温管理に努めましょう。



### サルモネラ食中毒は、減少傾向にありますが、死者がでることもあります。

厚生労働省が取りまとめている食中毒の病因物質別集計によると、平成15年にサルモネラ属菌と判明した食中毒は350件であったものが、平成27年には24件と、発生件数は以前に比べ減少傾向にあります。しかしながら、細菌を病因とする食中毒の中では、腸管出血性大腸菌に次いで死者数の多い食中毒の原因です。引き続き十分な対策を取ってください。(死者数：平成23年3名、平成18年1名、平成17年1名、平成16年2名)(平成15年以降の統計値)

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL : 0463-58-0152 FAX : 0463-58-5679